物流網

「万が一」多角的に備え

日本エリアの物流中核拠点で、全体の6割の出荷を担う大型物流倉庫だけに、現在も注文制限や配送遅延が続く。火災前の状態に復旧するのは9月になると、火災のあったアスクルの倉庫と同規模以上の倉庫が6割にのぼることが分かった。

アスクルの火災が発生した倉庫は、延べ床面積約7万2000平方㍍で、同規模以上の倉庫が134棟あった。倉庫での作業人員規模でみると、600人以上700人未満は地震や台風など数多くの自然災害の経験から計画（BCP）の重要性が改めてクローズアップされている。日本